

浜松湖西豊橋道路 都市計画原案に関する説明会

1. 日 時 令和7年12月21日（日） 19時00分～21時05分
2. 会 場 大知波公会堂
3. 出席者 湖西市 都市整備部 都市政策課
静岡県 交通基盤部 都市局 都市計画課
道路局 道路企画課
浜松土木事務所
国土交通省 中部地方整備局 浜松河川国道事務所 計画課

4. 内 容

- 1) あいさつ
- 2) 都市計画原案に関する説明
- i 湖西市のまちづくり
 - ii 都市計画の手続き
 - iii 浜松湖西豊橋道路の概要
 - iv 浜松湖西豊橋道路の都市計画について

3) 質疑応答

<要旨>

質問等	回答
現ルートは集落内を通過することとなり、地域の分断につながりかねない。 ルートの変更またはトンネル形式にできないか。	集落の分断について、地域から懸念の声が上がっていることは承知しています。 できる限り皆様にご迷惑をおかけしないルートを選ぶことができれば良いですが、地形や神社仏閣、天然記念物、嵩山等を避けながら、かつ自動車専用道路ということでルートを選定しているため、道路の位置を変更することは難しいと考えます。 大知波地区は今川に沿って東西に広がっているため、どこを通っても誰かの土地や住宅に影響が出てしまいますが、知波田小学校の西側の山林を通過することで、集落への影響が最も小さいと判断しました。県道豊橋大知波線との交差部は橋梁で立体交差とし、集落内の市道はボックス構造で東西の交通を確保する等、今後、事業実施者による詳細な設計の中で検討をしていきま

	す。 トンネルについては、延長が 5km を超える場合、費用面以外に危険物車両が通行できなくなる可能性があるほか、湖西 IC（仮称）に向け 4%の縦断勾配を確保する必要があるため、地形的に非常に困難と考えます。
移転対象となる軒数は。時期はいつ頃か。	概略検討の段階であるため、具体的な移転軒数は未定です。 都市計画決定まで約 2 年を要する見込みですが、その後に事業化し、調査・設計を進めていくため、時期についても今の時点ではお答えできかねます。
神座の IC 以外に、大知波にも取付道路等の設置予定はあるのか。	IC 間の距離の制約等があり、技術的に難しいと考えます。
PA の設置や廃寺跡・大知波桜・小学校跡地等といった資源の活用、道路構造については意匠を凝らした橋梁形式とする等、地域活性化のため「観光」をキーとした施策をお願いしたい。	知波田地区自治会連合会から市長あてに「湖西市北部地域 2040 年未来ビジョン主要施策に関する実現可能性調査の実施要望書」を提出いただき、市長から、早い段階から地域と行政が相談しながら検討していくことが重要と回答しています。 道の駅の要望もありましたが、販売や生産の担い手、利用ニーズ等をあらかじめ把握する必要があります。 全市的に人口減少が進む中で、地域コミュニティの維持向上が北部地域の課題と認識しています。この道路を契機とし、地域を盛り上げていく対策について、様々な部門が関わり湖西市役所全体で、地域の皆様と一緒に地域の将来像について検討していきたいと考えます。
経済の効率化だけを優先するのではなく、地域住民の生活も考慮し、道路位置をもっと西側（湖西連峰中腹あたり）に変更してほしい。	湖西連峰を通るルートとした場合、地形的に大知波地区内への IC 設置は困難です。 現在、神座地区に IC の設置を予定していますが、市内の交通混雑緩和のため、南北を結ぶアクセス道路の検討を行っており、

	市の発展を知波田へも波及させるような取り組みも今後必要だと考えます。 湖西市の特性上、工場の近くに IC を作る方が合理的であり、そうすることで地域の幹線道路における大型車両の減少が期待でき、生活環境の改善につながると考えます。
現ルートありきの説明で、内容も前回と同じであり、地域に寄り添った説明会ではなく、実施実績だけが残される。 ルートの決定に際しては公募すれば良い案が出されるかもしれない。	ご意見として承ります。
県への原案申し出前に説明会は開催されるのか。 今日出された質問への回答は得られるのか。	まちづくり・地域の活性化の点については、あらためて市と地域で意見交換の場を設けさせていただきたいと考えます。 都市計画手続きについても、公聴会や都市計画案の説明会以外にも、市と地域で対話を続けていきたいと考えます。
計画を止めるためにはどうしたら良いか。	湖西市だけでなく、浜松市と豊橋市と同時に手続きを進めています。
大知波には IC ではなく PA がほしい。現都市計画原案へは反対。	ご意見として承ります。
大知波に IC を設置せずに、トンネル形式で湖西連峰を通過するようなルートへ変更することは可能か。	1km 幅のルート帯(大神八幡宮あたりから知波田小学校東側ぐらい)の中で、どこを通過するのかの検討を重ね、精度を上げてきました。 三ヶ日 JCT から三河港まで 3 案のルート帯が検討された経緯があり、その中で最も西側のルートを取ったのが現在のルートです。 さらにその西側となると、嵩山を回り込むルートは非常に難しく、湖西市への IC 設置も難しくなってしまう。
浜松湖西豊橋道路は不要。国道 301 号の改良で十分ではないか。	国道 301 号は県の管理道路です。 一部狭隘箇所があったり、自転車と自動車に絡み合い渋滞していたりと課題を認識しています。

	地域の声を聞きながら、より良い道路となるよう改善に努めます。
もっと西側を通過するものと思っていた。 照明に群がる害虫（カメムシ等）による農作物へ被害や、通行車両による振動・騒音等、環境への影響が心配。	環境への影響を適切に評価し、都市計画へ反映するため、並行して環境影響評価の手続きを進めています。 夏ごろを目標に、あらためて説明会を開催させていただく予定です。
20年、30年経って子や孫達に住みにくい土地と思われないようなまちづくりをしてもらいたい。	将来の不安や懸念をどうしたら払拭できるのか考えていくことが重要と考えます。 市として、北部地域を盛り上げてコミュニティを維持向上させていくため、地域と一緒に考えていくこと、また浜松湖西豊橋道路の整備効果を、大知波地区を含め市内全域に波及させていくことが重要だと考えます。 生活環境に対するご懸念やご心配については、環境影響評価の準備書の中でわかりやすく、丁寧に説明させていただく予定です。 公聴会等、法的に設けられる手続きの中で、地域としての意見を述べていただくためにも、適切な時期に適切な方法で正確な情報を伝えていきます。
老朽化の進む多米トンネルの改修や、豊橋等との広域的な周遊についてはどう考えるか。	多米トンネルは県の管理施設であり、中央自動車道笹子トンネルの崩落事故以降、5年ごとの点検が義務化されたため、定期的に点検・修繕を実施しています。 周遊については、現時点で具体的な施策はありませんが、廃寺跡や大知波桜、松見ヶ浦等の観光資源を活用する等、地域の皆様と一緒に考えていきます。
県道豊橋大知波線は豊橋側からの通勤車両で混雑しているため、ICを湖西連峰の中腹に設け、鷲津方面に抜けられるようにルートを変更できないか。	渋滞対策は一般的に、交差点改良やバイパス整備、時差出勤等様々な対策があります。 地域課題として、県や市、国と連携を図りながら検討していきます。

ルートは変更できるのか。	ルートについて、ご納得いただけていないと見受けます。 長時間となってしまったため、日をあらためて意見交換の場を設けさせていただきたいと考えます。
今日の議事録を作成し、ウェブサイト等で公開してほしい。	ご意見として承ります。
大知波地区としては現都市計画原案へは反対である。現在 500 名以上の反対署名が集まっている。 今日の意見を持ち帰って検討し、あらためて意見交換の場を設け、回答をいただきたい。	あらためて検討し、次回対応とさせていただきます。
今日の内容を市長に報告してほしい。	市長へ伝えます。
将来の不安や懸念を払拭するため、住民に寄り添った話し合いを続けていただきたい。 住民の犠牲の上に道路が建設されることはおかしい。湖西市民であると同時に、静岡県民であり日本国民である。行政としてそれぞれしっかりと対応をお願いしたい。	ご意見として承ります。